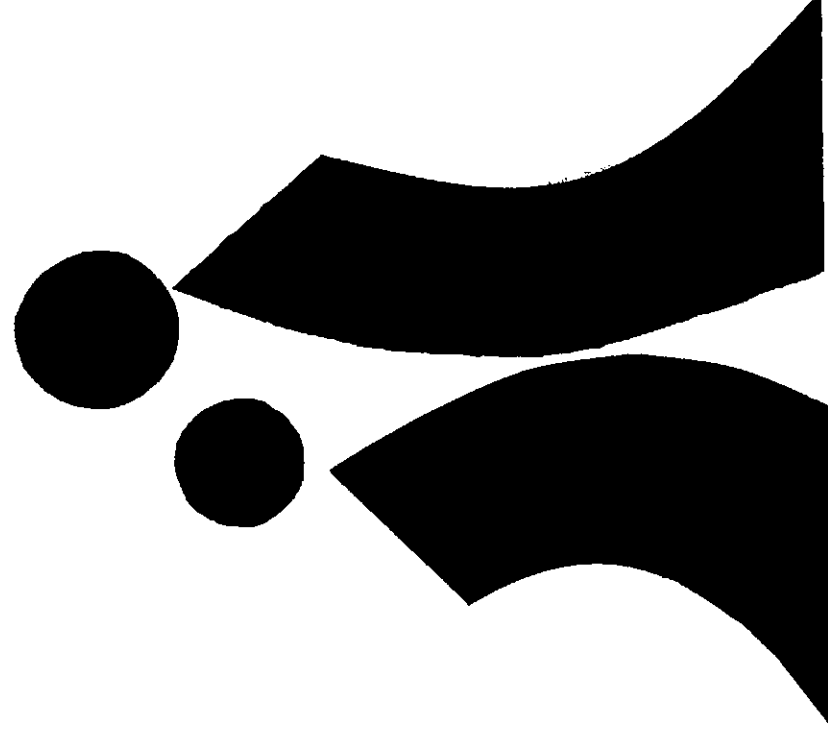


第2回
芦別慈恵園
職員研究発表会



とき 平成22年3月27日(土)
ところ 芦別慈恵園 デイサービスセンター

社会福祉法人 芦別慈恵園

11

C

C

11

第2回

社会福祉法人 芦別慈恵園

職員研究発表会



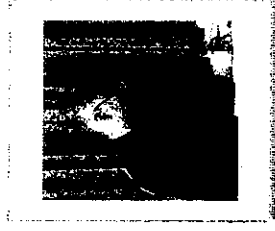
日時…平成22年3月27日(土)

9:30~15:00

場所…芦別慈恵園デイサービスセンター

講師…きのこ老人保健施設

副施設長 武田和典先生



内容…

- ①芦別慈恵園40周年のあゆみ(映像)
- ②ターミナルケアについて
- ③24hシートの取り組みについて

7事業所より発表

特養・かざぐるま・短期・デイ・
もみじ・訪問・居宅



主催：芦別慈恵園 研修委員会

11

C

C

11

社会福祉法人 芦別慈恵園 第2回職員研究発表会

日 時) 平成22年3月27日(土) 9:20~15:00
慈恵園デイサービスセンター

目的) 24時間シートを通して知識・技術を考え報告し学び合う

講師・助言者) きのこ老人保健施設 副施設長 武田 和典先生

参加者) 職員 105名

来賓 7名 大堀具視先生、西英昭評議員、野坂恭子評議員

高島京子評議員、藤井恵美子評議員、則本洋子様、秋山清子様

計 112名

日 程)

9:20~9:25	施設長挨拶	
9:25~9:30	講師紹介	
9:30~10:00	はじめに 「慈恵園40年間の歩み」	和田課長 松本生活相談員
10:00~11:00	基調講演 「個別ケアについて」	武田 和典 先生
11:00	休憩	
11:10~11:40	発表① 健康係 「ショートステイのターミナルケアについて 感じた事」	岸看護サブリーダー 松藤生活相談員
11:40~12:00	発表② 本体特養 「24hシートからF様の生活と私たちを振り返る」	林介護マネージャー
12:00~13:00	休憩	
13:00~13:20	発表③ かざぐるま 「24hシートの取り組みを考える～一覧化して感じた事・考えた事」	島山介護マネージャー
13:20~13:40	発表④ ショートステイ 「居宅系サービスから入居される方へ～ 24hシートで伝える事は」	滝口介護マネージャー
13:40~14:00	発表⑤ デイサービス 「24hシートから事故を防ぐには」	小松グループリーダー

14:00~14:20	発表⑥ もみじの家 「利用したくなるサービスと24hシート」	石川主任
14:20~14:40	発表⑦ 訪問介護 「訪問介護で作成する24hの意味」	鎌田介護マネージャー
14:40~15:00	発表⑧ 居宅介護支援事業所 「居宅における24hシート作成のための 視点と課題」	山崎由加里
15:00	まとめ	川邊施設長

○発表15分+質疑応答5分とする

芦別慈恵園のあゆみ

昭和44年
 12月～社会福祉法人芦別慈恵園
 登記成立
 初代理事長：中野重雄氏

昭和45年
 2月～特別養護老人ホーム芦別慈恵園
 認可
 定員50名・職員18名
 初代施設長：小野寺勇夫氏

昭和46年
 7月～2代目施設長：中野重雄氏

昭和49年
 12月～定員100名・職員38名

昭和49年
 4月～天皇陛下より優良施設として
 御下賜金を受ける

昭和54年
 4月～3代目施設長：関日出三氏

昭和55年
 4月～日本テレビ24時間
 チャリティデー委員会より
 ハイエース1輛寄贈

昭和60年
 4月～コンピュータ、ワープロ導入

昭和61年
 6月～4代目施設長：田村美之氏

昭和62年
 8月31日～第一回「ふれあい会」
 実施

昭和62年
 11月～給食優良施設として
 北海道知事より表彰

平成2年
 3月～年間在園者数激減し、関係機関
 との連絡を積極的に図る

平成3年
 4月～職員労働時間週45時間から
 44時間に短縮

平成4年
 10月～職員労働時間週42時間に短縮

平成4年
 11月～全国老人福祉施設実践研究
 奨励賞
 佳作受賞「適温給食を目指して」

平成5年
 10月～優良集団給食施設として
 厚生大臣より表彰

平成6年
 4月～事務組織及び分掌の変更

平成7年
 4月～在宅介護相談事業、介護用品等
 貸出事業を開始
 広報誌 慈恵園だより創刊号
 発刊
 職員労働時間週41時間に短縮

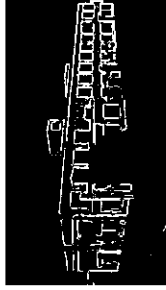
平成8年
 9月～ハンズドベル導入

平成9年
 4月～職員労働時間週40時間に短縮

平成10年
 10月～「在宅ケアのための料理教室」
 を実施

平成12年
 11月～ハンズドベル同好会発足

平成14年
 4月～介護保険制度導入



昭和44年～平成13年
 特別養護老人ホーム
 芦別慈恵園

平成13年
 8月～道路拡張による施設全面改築
 入居106名、短期6名

平成14年
 4月～芦別慈恵園
 デイサービスセンター(20名)
 芦別慈恵園
 在宅介護支援センター
 開設

平成15年
 10月～認知症ひまわり14名に対して
 エニツトケア開始
 利用者の生活に合わせた環境
 整備を開始・個別ケアに取り
 組みユニット化をすすめる

平成15年
 4月～5代目施設長：皆木辰吉氏

平成16年
 8月～いこいユニット11名
 小規模生活単位1型(ユニット
 加算)認可(空知管内初)

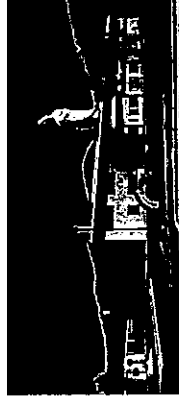
平成16年
 4月～デイサービスの提供時間を
 6～8時間算定に変更
 居宅介護支援事業所(1名)
 開設

平成17年
 12月～地域密着を目指し、サテライト
 型居住施設、単独型デイサービス
 開設について芦別市と話し合
 いを持つ

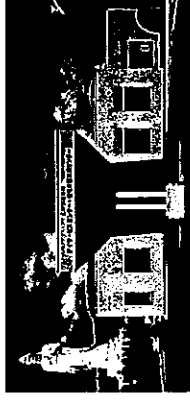
芦別慈恵園のあゆみ

平成17年
 3月～ユニツトケア・個別ケア
 武田和典氏来園し定期的に内部
 研修開始する
 4月～デイサービス定員24名に変更
 7月～第8回構造改革特区認定を
 受ける(サテライト型居住施設)
 8月～単独型通所介護もみじの家
 定員10名開設
 平成18年
 2月～在宅介護支援センター閉所
 3月～芦別慈恵園訪問介護サービス
 開設
 4月～居宅介護支援事業所2名に増員
 9月～もみじの家祭り開始
 12月～学習療法導入
 平成19年
 4月～居宅介護支援事業所3名に増員
 9月～サテライト型居住施設
 芦別慈恵園かざぐるま開設
 (入居16名・短期4名)
 12月～本体特別介護老人ホーム
 ユニツト化に向けて改修工事
 開始
 平成20年
 2月～本体改修工事終了
 4月～居宅介護支援事業所4名に増員
 7月～学習療法モデル施設となる
 平成21年
 4月～6代目施設長：川邊弘美氏
 新体制となる
 居宅介護支援事業所5名に増員
 介護マナージャー制を導入
 各事業所情報共有化するため、
 介護用PCソフトを積極的に活
 用を開始する
 7月～単独型通所介護もみじの家開設
 8月～地域密着型
 認知症対応型通所介護(定員10名)
 もみじの家開設(理事長 岩間珠一氏
 9月～4代目 理事 長 岩間珠一氏
 3月～かざぐるま事務室改修工事
 平成22年
 開設40周年記念行事予定
 (地域還元事業)
 ①なごみの丘
 ②市民講座…10月6日(福祉センター)
 「地域の良さを知る」
 横石知二先生(いろどり)
 ③開設40周年記念誌 芦別慈恵園
 和顔愛語(9月2日発行)

平成22年
 4月～職員労働時間週40時間
 4週8休に変更



平成13年8月～
 特別介護老人ホーム 芦別慈恵園



平成14年4月～
 デイサービスセンター 芦別慈恵園



平成19年9月～
 サテライト型居住施設
 芦別慈恵園かざぐるま



平成17年8月 もみじの家 開設
 平成21年4月 現住所に移転
 平成21年8月 認知症通所介護に

武田和典氏 プロフィール



経歴)

- ・東北福祉大学卒業
- ・新聞販売所店員
- ・元的障害者更生施設宇津峰十字の里 副施設長
- ・元特別養護老人ホームシオンの園 施設長
- ・東北福祉大学非常勤講師
- ・元福島県立総合衛生学院保健学科非常勤講師

現在)

- ・岡山県さのこ老人保健施設(岡山県笠岡市) 副施設長
- ・特養・老健・医療施設ユニットケア研究会代表
- ・NPO 法人全国コミュニケーションサポートセンター (CLC) 理事
- ・日本居住福祉学会理事
- ・宅老所・グループホーム全国ネットワーク研究所講師

◎全国各地で「ユニットケア」「個別ケア」の方法を伝え、また、利用者に関わる職員のあり方も伝えておられます。

◎平成 17 年 3 月 芦別慈恵園来園されユニットケア・個別ケアについてご指導頂く。

◎平成 18 年からリーダーや新人職員を中心に、人材の財は「宝」と思い、人を育て、自らも育つことを目標として研修に関わっています。

又 毛

A large rectangular area with vertical dashed lines, resembling a page from a notebook or a form for data entry. The page is oriented vertically. There are two circular punch holes near the top edge. The dashed lines are evenly spaced and run from the top to the bottom of the page. The page is otherwise blank.

～ 研究発表 ～


1. 発表① 健康係
「ショートステイのターミナルケアについて感じた事」
2. 発表② 特養 ひまわりグループ
「24hシートからF様の生活と私たちを振り返る」
3. 発表③ かざぐるま
「24hシートの取り組みを考える～一覽化して感じた事・考えた事」
4. 発表④ ショートステイ
「居宅系サービスから入居される方へ～24hシートで伝えることは」
5. 発表⑤ デイサービス
「24hシートから事故を防ぐには」
6. 発表⑥ もみじの家
「サービスを使いたくなる24hシートとは」
7. 発表⑦ 訪問介護
「訪問介護で作成する24hの意味とは」
8. 発表⑧ 居宅介護支援事業所
「居宅における24時間シート作成の為の視点と課題」

11

C

C

11



**最後まで
自分らしく生きるとは...**


社会福祉法人 芦別 慈 苑 団
看護師サリエター 岸 鈴子

認知症対応型デイサービス
もみじの家

社会福祉法人 芦別慈苑団
長期・短期入所


かざぐるま
長期・短期

デイサービスセンター

M・K様 (女性・78歳)

- ・介護度 4
- ・既往～高血圧、糖尿病、腎不全、パーキンソン病、うつ病
- ・一人暮らし
- ・利用サービス～通所リハ・訪問介護
- ・平成19年8月より
ショートステイ利用開始

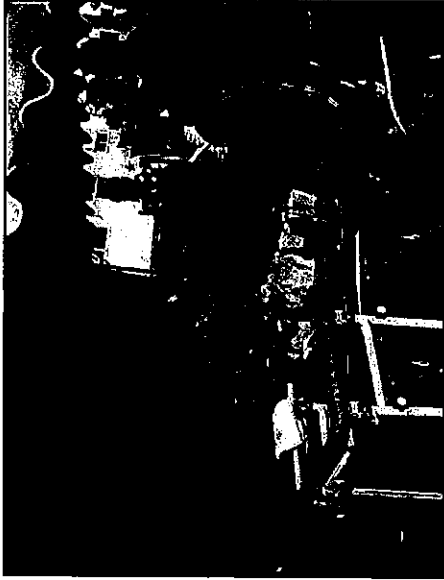


K様の暮らし

- ・体操やデイタイムなど
いつも行う
- ・積極的におしほりたりたみや
食事盛り付けされる
- ・明るく元気、感謝の言葉を口にされる
はいからな服、みんなに何かお礼がしたい

長期の方にも親しまれていた





家族様

次男夫婦

・毎日のように面会に来る

長男

・受診のたびに札幌から来ている

どうして……？

かざぐるまの存在

K様にとって～

・親戚の家に遊びに行くような感覚

家族様にとって～

・誰かが側にいてくれる安心感

・家から近く、通いやすい

暮らしやすい居場所

8月20日からの利用のK様

・車椅子でぐったりして来られた

・BD144/50 P27 KT35.1

・呼吸苦、喘鳴あり、SP02測定不能

・倦怠感著明

・顔面むくみあり

・食欲なし、食べても嘔吐される

愛けておちたの？！

家族の想い……

病院には頼れな～！

それでも……

かざぐるままで過ごしたい

最後まで家でがんばりたい

私にできること……

本人の願いを叶えたい

後悔したくない

思いを支えたい

私にできること・・・

- ・ 食事は食べられる物を食べてもらう
- ・ 薬だけは飲んでもらう
- ・ 急変時の連絡先として次男嫁携帯へ
(必要に応じて救急車)

8月21日

一過性の意識低下

夕方に再度家族カンファレンス行う

【話し合ったこと】

- ・ 夜間家族に付き添って頂く
- ・ 苦しいと判断される場合は救急搬送する
- ・ 緊急時の対応方法をスタッフ間で徹底

8月29日

- ・ 夜間 排尿なくお腹が苦しい
- ・ ご家族が本人に確認すると
「病院に行きたい・・・」
額かれる
- ・ 救急外来受診、市立病院入院

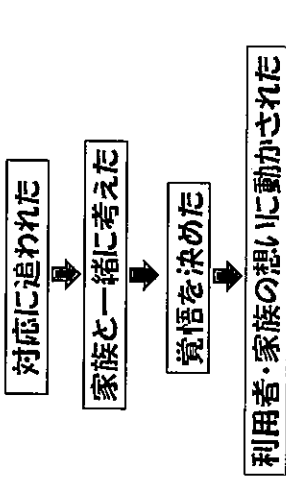


看護師としての葛藤・・・

- ・ 病院だったら...
- ・ 酸素・点滴・注射⇒苦痛緩和が出来る
- ・ 看護師として
病院に行くべきか、想いを大切にすべきか
- ・ 以前の勤務先では...
延命治療に心痛めることもあった

一精に看取る覚悟を決めた

振り返ってみると・・・



最後までかかわられてよかった

平成22年3月

次男様宅を訪れました

自宅で過ごしていた
写真を見せて頂いたり、
8月頃のお話を伺いました。

K様から学んだこと

- ・相談員と連携する
- ・家族の想いを聞く
- ・どうしたらいいか検討する

施設ナースのあり方を学んだ

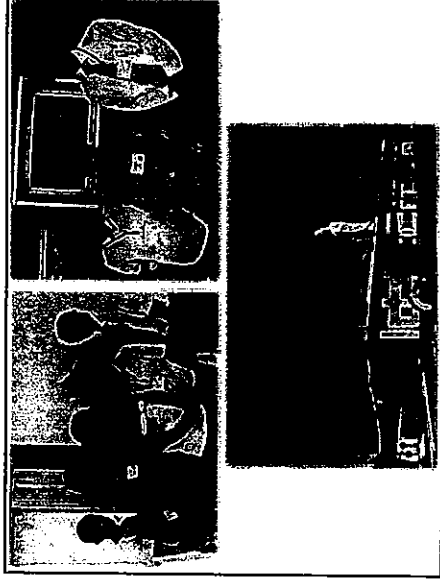
おわりに

現在取り組んでいること

シヨートステイ会員の開催

- * 番護師・相談員の視点から見た必要な情報
- * その方の暮らし方を多職種で共有する

様々な思いに応えていける
地域に根ざしたサービスを
目指して・・・



24時間シートからF様の
生活と私たちを振り返る

介護事業部 介護事業課
介護係 ひまわりグループ
介護マネージャー 林 美恵

はじめに

- 笑顔ユニット ひまわりグループ
・御利用者様10名
・職員8名
・御利用者様と24時間シートについて



24時間シートを基に
利用者の生活を振り返る

認知症対応のユニットとして

- ・スタッフ全員での勉強
- ・24時間シートの使い方がわかっていなかった
- ・研修を通し振り返った時

ご利用者様一人ひとりが
落ち着いた生活を
していなかった

F様

- F様（女性・明治42年2月10日）
・介護度3
・美喉生まれ
・息子の闘病を付き添う



面倒見の良いやさしい方

お菓子作りをしている様子



はじめに

笑顔ユニット ひまわりグループ

- ・御利用者様 10名
- ・職員 8名
- ・御利用者様と24時間シートについて

↓

**24時間シートを基に
利用者の生活を振り返る**

認知症対応のユニットとして

- ・スタッフ全員での勉強
- ・24時間シートの使い方がわかっていなかった
- ・研修を通し振り返った時

↓

**ご利用者様一人ひとりが
落ち着いた生活を
していきなかつた**

F様


F様（女性・明治42年2月10日）

- ・介護度 3
- ・美幌生まれ
- ・息子の闘病を付き添う

↓

面倒見の良いやさしい方

お菓子作りをしている様子




ひまわりグループでの生活

- ・お金がない
- ・物が盗まれた
- ・部屋では安心して眠れない

↓

F様にとって不安な日々

気がついた事

- ・基本的な認知症とは？
- ・個人一人一人の生活とは？
- ・病気を知らずとも大切だがまずは御利用者様一人一人をしる事

↓

一人ひとりの生活を知る事大切さ

24時間シートを見て

今まで

- ・食事
- ・入浴⇒3大介護のみに焦点をあてていた
- ・排泄

↓

利用者の出来ることやその時の気持ちは誰が見ても分かるシートを作る

シートの修正を行ってゆく中で・・・

困った!

- ・お話を聞く
- ・物を一緒に探す

↓

目の前の利用者だけを見ていた

目の前の事だけでいいの？

ご利用者様が不安になる

↑ **不安になる前のケア?**

ソファにて寛いでいる

↓

落ち着いているから安心?

シートの修正を行って行く中で

落ち着いている

↓

その時点で何か困っている事があるのではないか?

↓

日々のその方を知る!

11

12

13

14

24時間シートの取り組みを 考える

～一覧化して感じたこと・考えたこと～

生活介護課介護係
かさぐるま
介護マネージャー
島山幸子

はじめに

- ▶ 最初の24時間シート
- ▶ 十分に活用されなかったシート
- 更新はどうしたか？
- 経験が優先？

ユニットリーダー研修 平成19年

- ▶ そのひとらしい生活の継続
- ▶ 生活を支える環境

ユニットリーダー研修

- ▶ リーダーとしての役目
 - ▶ 24時間シート作成
- ↓
- 作成しただけ

12月の研修をうけて

- ▶ 秋葉先生の評価
- ↓
- ハード(建物)だけ

取り組み ①

- ▶ 24時間シートの意味
伝えることから始めた。
- ▶ 作成する期日を決めた。
 - ①1週間でひとり作る
 - ②その後担当を決めた
 - ③1か月で全員つくる

取り組み ②

- ▶ 取り組みで見ると…
最初の一人が1週間では出来な
かった。
- ↓
- 利用者の暮らしが見えていなかった

取り組み ③

- スタッフの思い
- ▶ 『日々の状況は分かっている』
 - ▶ 『本当に必要?』
 - ▶ 『時間が足りない!』
- ↓
- 《思い込み》
《面倒》

取り組み ④

- どこで暮らしても同じ生活を送れる
スタッフ全員で関わる
担当を決めて作成
一人ひとりの生活を見直す

取り組み ⑤

- ▶ 一人ひとりの生活を見直す
- ▶ 起きる時
- ▶ 食事
- ▶ 入浴は何度くらいの湯加減

見直して分かった事

- ▶ 情報の取り方
- ↓
- 個人差がある

見直して分かった



まとめ

- ▶ひと月おくれで16名終了
- ▶**➡** 期日が守れなかった
- ▶一覽化して感じた事
- ▶今後の課題

介護Mとして(ユニット)

- ▶暮らしの場にする
- ▶自分らしさ
- ▶家での生活の継続

介護M(リーダー)として

- ユニット確認
- 24時間シートの活用
- 暮らし場所

11

C

C

11

居宅系サービスから 入居される方へ

24時間シートで伝えることは

特別支援員
生活福祉課 介護係
和やかユニオン介護マネージャー
美 口 千 秋

はじめに…….

慈恵園の24時間シートは……

シートステイは 24時間シートが無い!

家で暮らしている方が……

どうしてサービスを利用する
の?

長期入居を決定したのはなぜ?

24時間シートは、
どう活用された……

事例へ | 様

- ・昭和5年生まれ 現在79歳
- ・長女だったため、兄弟の子守りをして
学校へは行けなかった。
- ・結婚後、3人の娘様に恵まれたが
ご主人に先立たれた。
- ・一人暮らしが不安になった長女様が
6年前から同居→アルツハイマーと診断

娘様は……
…お母様を

一人にするのが不安……

……大勢の中に入るのは苦手でも
サービスを利用してもらわないと
家族は暮らせない……

あまりにも
暮らしづりを知らない

ADLだけを見ていては……

「その人が見えない」

「サービス利用を
増やして欲しい」

- ・ ショーテスト日は土日を含めて利用したい
- ・ 通所サービスは週2回から3回へ

11月9日
ショートご利用

機嫌が悪いの・・・



自宅から離れることが
多くなった不安

どうしてか解らないけれど
娘様に叱られる・・・

寂しい・・・

持っている情報を集めよう

私たちが知っているのは・・・

対応の方法だけだった

娘様の言葉を集めると・・・

娘様はI様を大事に思っている

I様の好きなことを

大切にしていた

なのに、なぜ・・・

たった独りの介護

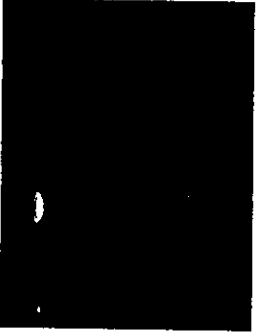


サービス利用中も

「I様の暮らし」

を大事にしたい

好きなことを大切に



散歩が仕事

昔の仕事、生活から
外を歩く事が
「仕事」と思っている

3月15日
ひまわりグループへ入居
自宅で使っていた椅子を持って



本体ひまわりでは・・・

様に必要なサポートが・・・

24時間の生活の中で
新たな発見もあるはず

長期入居は・・・

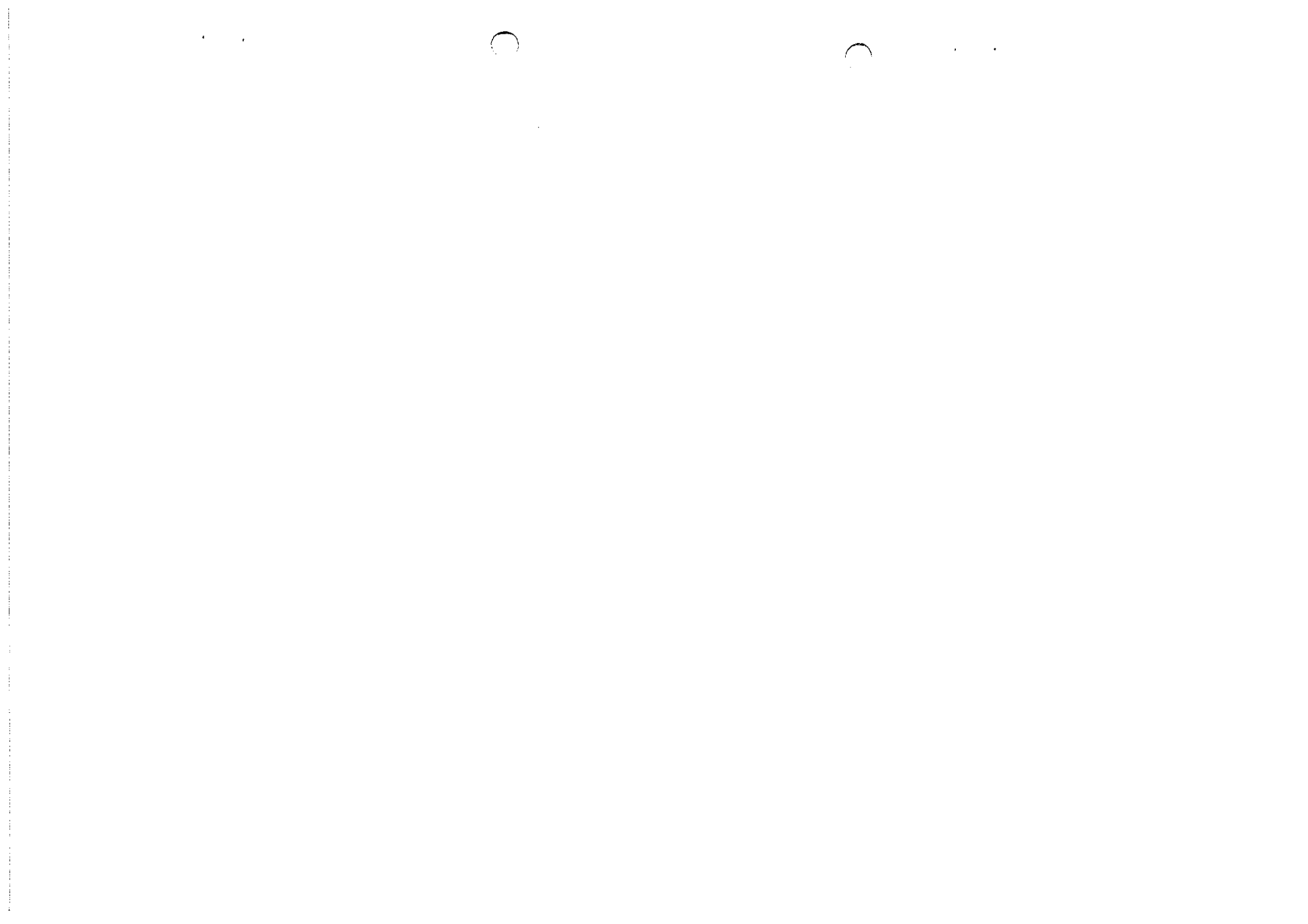
場所は変わったけれど

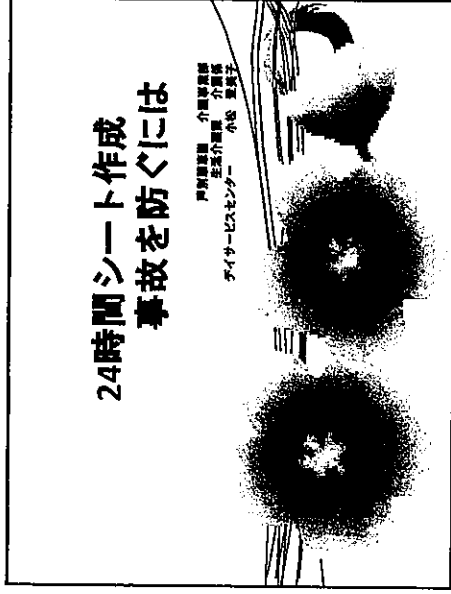
「好きに暮らせる」
場所であって欲しい

24時間シートを

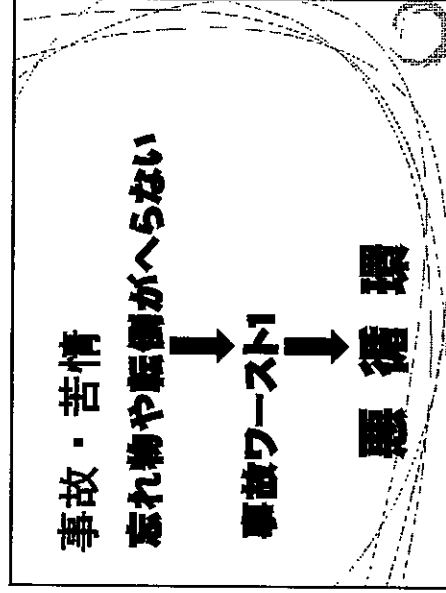
本当に必要なサポートを
各事業所がこながる

ケアプランへ

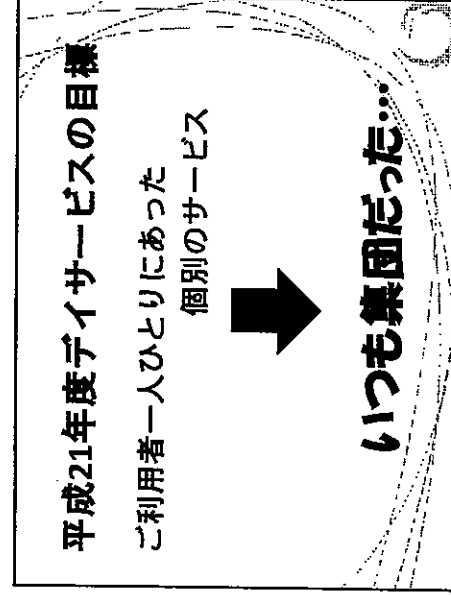




はじめに・・・
なぜこのテーマに取り組んだか？
また事故だ・・・
↓
どうして？



事故
●どこか他人任せ
●確認や見守り不足
『デザイナーサービスの利用者は
自分でできるから大丈夫』



24時間シートを作成するために・・・
●相談員や担当ケアマネの情報
だけでケアは出来るの？
●相談員とある自宅訪問・・・

訪問に行って家族の思いを知る
ご家族・本人の思いは・・・
不安・心配
本人は目的がない・・・
大切な人

訪問による気づき・・・

- 私は何をきてきたのか？
- これまでと何が違っていったのか？
- ご家族とのコミュニケーション不足
- ご利用者とのコミュニケーション不足

24時間シートを作る意味
利用者の気持ち？
ご利用者の出来る事？
出来ない事を知る？
ケアマネや相談員の情報だけではダメ
テイだから大丈夫だと思いこみ・・・
生活を知る

改善するために・・・

朝・夕のミーティング
相談員だけの発言
2月からの役割分担表
各役割ごとにリーダーを配置
少しだけと責任を持つ

改善して見えてきた事・・・

- スタッフの意識の違い・・・
- 情報の共有・・・
- 他職種との連携


今後の取り組み
デイサービスとして
24時間シートの活用
個別サービス

リーダーとして
相談員と共に訪問
ご利用者・ご家族の声を聞く
スタッフに対して

ご清聴有難う御座いました。



「サービスをつかいたくなる 24時間サービスは？」



特別ボランティア 管理者
もみじの家
石川ひとみ

はじめに.....

ご利用者が望む
サービスを考える!



もみじの家のサービは!




- 学習療法
- 唱歌
- 読み聞かせ
- 散歩
- 家事仕事の支援

生活を支える事.....

- 生活の一部に.....
- 夫婦での利用
-負担を少しでもやわらげるために!

ある日.....



- もみじの家に来てすぐにはトランプを手にしてトランプ遊びを一人でするMさん.....
- いつものようにMさんがトランプを手にする事に初めてなせだろう??

と考えました

利用者さんを
知らなかった!

利用さんと
知ろうと
していた!
かった!

なにが
好きなのか?
どんな人生を
過ごされたのか?

Mさんは.....

■ 要介護 3 女性 76歳 女性の
方です

■ 町田当河から、もみじの家を利用さ
れております。

もみじの家のMさんの過ごし方は

散歩・学習・食事のお手伝い
新聞や読書をされて過ごされます

職員が声を
かけるとすぐに
応じてくれます

サービスを利用したくなる
24時間シートへの取り組みへ

- もみじの家職員でミーティングを行う
- Mさんの情報を書く
- Mさんのできる事.....
- 一人ひとり、思いつく事を書く・

取り組みで見えてきた事

- Mさんとの関わりが少なかった
- 一人もで楽しそうだった？
- Mさんはほとんど一人で大丈
- 入浴も少し手伝うだけ.....
- Mさんが一番好きな事が
分かっていなかった！！

自宅のMさんは...

- トランプはしな.....
- 家事はしな.....
- サービスを
く起きる

24時間の生活を知る事



24時間

■ これ

もみじ家の24hシートは

- 利用者さん、ご家族様がサービスを使いたくなる様に！
- もみじの家だから出来るサービスを提供したい・・・
- 利用者さんが、一番好きな事を大切にしながらサポートして支援する事です

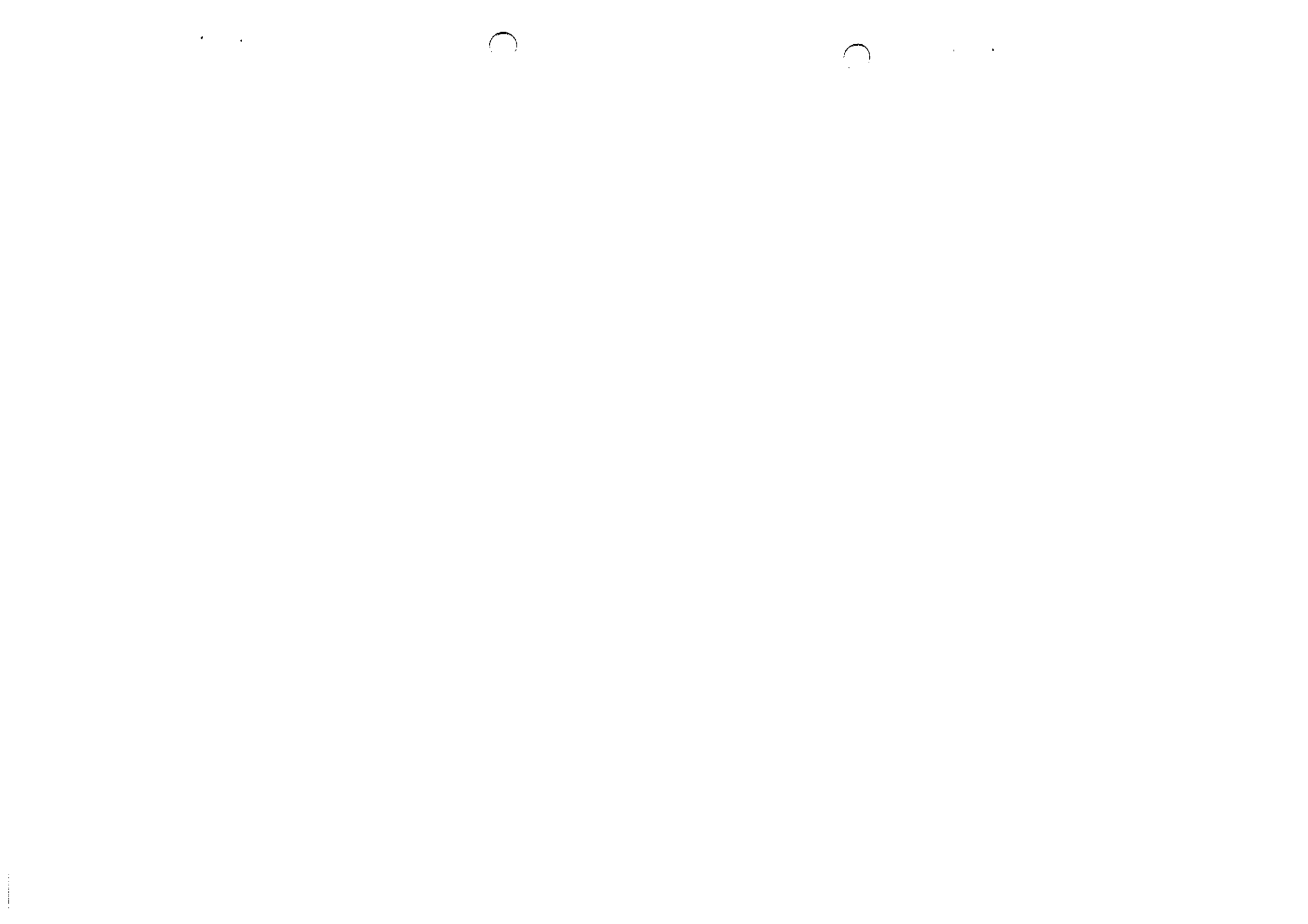
今のMさんは・・・

- 笑顔がふえました。
- 職員に以前より話しかけてくれます。
- 職員の支援記録の書き方が変わりました・・・
- ご家族に、もみじの生活の様子が伝わる記録が書ける様になった！

これから～もみじの家は

管理者として

- 利用者さんが過ごしやすい環境であるか？・・・そのために
- スタッフが全力で利用者さんの生活をサポートできるように
- 管理者としてスタッフの仕事を全力でサポートします。



「訪問介護で作成する24時間シートの意味とは？」

戸別慈恵園 訪問介護サービス
サービス提供責任者 鎌田みどり

はじめに

- ・ヘルパーが関わる時間…
- ・一人の事例をあげて
24時間シートを考えました。

K様とは？

- ・大正7年生
- ・介護度4
- ・心不全
- ・脳梗塞後
- ・変形性膝関節症
- ・養猫をかねて
- ・家の草むしり



在宅での生活は

- ・訪問介護を
平成19年12月12日よりご利用
週1回… 入浴・洗濯・調理
月1回の受診同行
平成21年10月より
週4回… 排泄・清拭・入浴・洗濯・調理
・配食サービスを
平成21年9月よりご利用

家族の関わり

- ・長男夫婦にはお世話にならない
- ・ご本人様は自分の事は自分でする。

体調の変化

- ・21年6月頃より麻酔科受診後の体調に変化
7月より
自宅へ転倒する事が増え
8月より…
入退院を繰り返すようになりました。

その後…

ショートステイ利用
↓
長期入所 (11月11日)
↓
長期入居が決まる

分かった事

Y様にとって大事なことは…

- ・ 住み慣れた家
- ・ 一人での生活

訪問ヘルパーとしてできること

- ・ その人を支える
- ・ 家族を支える

その人向けの生活を変える

- ・ 出来なくなったら…
- ・ 一人で暮らしている時は、どんなに時間が
かかってもやる。
- ・ でも…
- ・ その時に…

事業所として

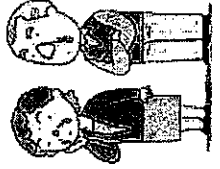
住み慣れた家での生活
↓
ショートステイ・施設入居
↓
その人にとっての生活

ご清聴ありがとうございました。

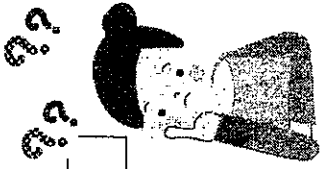
居宅における24時間シート
作成のための視点と課題

芦別慈恵園ケアプラン相談センター

私たちは…
○○のような
生活をしたい



○○さんは
どう思っ
ているん
だろう？



・対象者
慈恵園法人以外 のサービスをご利用の方



芦別市訪問看護
芦別市加齢介護
芦別市ケアサービス
福祉用具貸与


・良かったこと



ケアの手がかり
本人の能力
サービスのスタッフとの情報共有
家族の役割
課題の共有

・難しかったこと

- 「自分で出来ること」の確認
- 「する能力」はあるが、「してもらっている」こと
- 「本人から聞くこと」が難しい人



・考えたこと

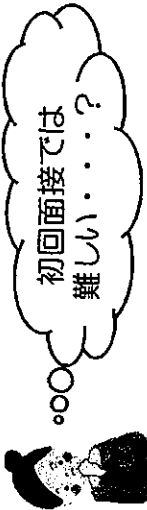
“正しく聞く”ため

必要なこと ↑

“コミュニケーション能力”

“信頼関係”

初回面接では
難しい・・・？




・考えたこと

ショートステイの
利用者さんには有効??

・「本人の安心感」

・「スタッフの受け入れやすさ」

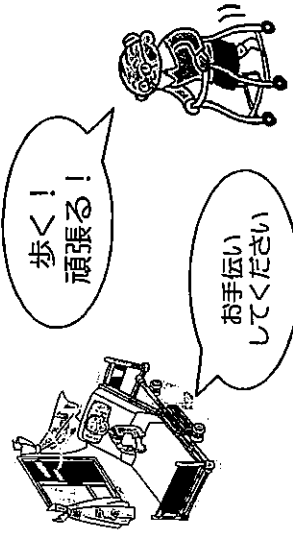


自宅では

ハイサービスでは

歩く！
頑張る！


お手伝い
してください



・課題

自宅で生活している方の
“生活のニーズ”


目的を
明確に



・課題

現状は・・・

- ・ 夜間のサービスがない
- ・ 24時間シートを作っても、
共有する場がない



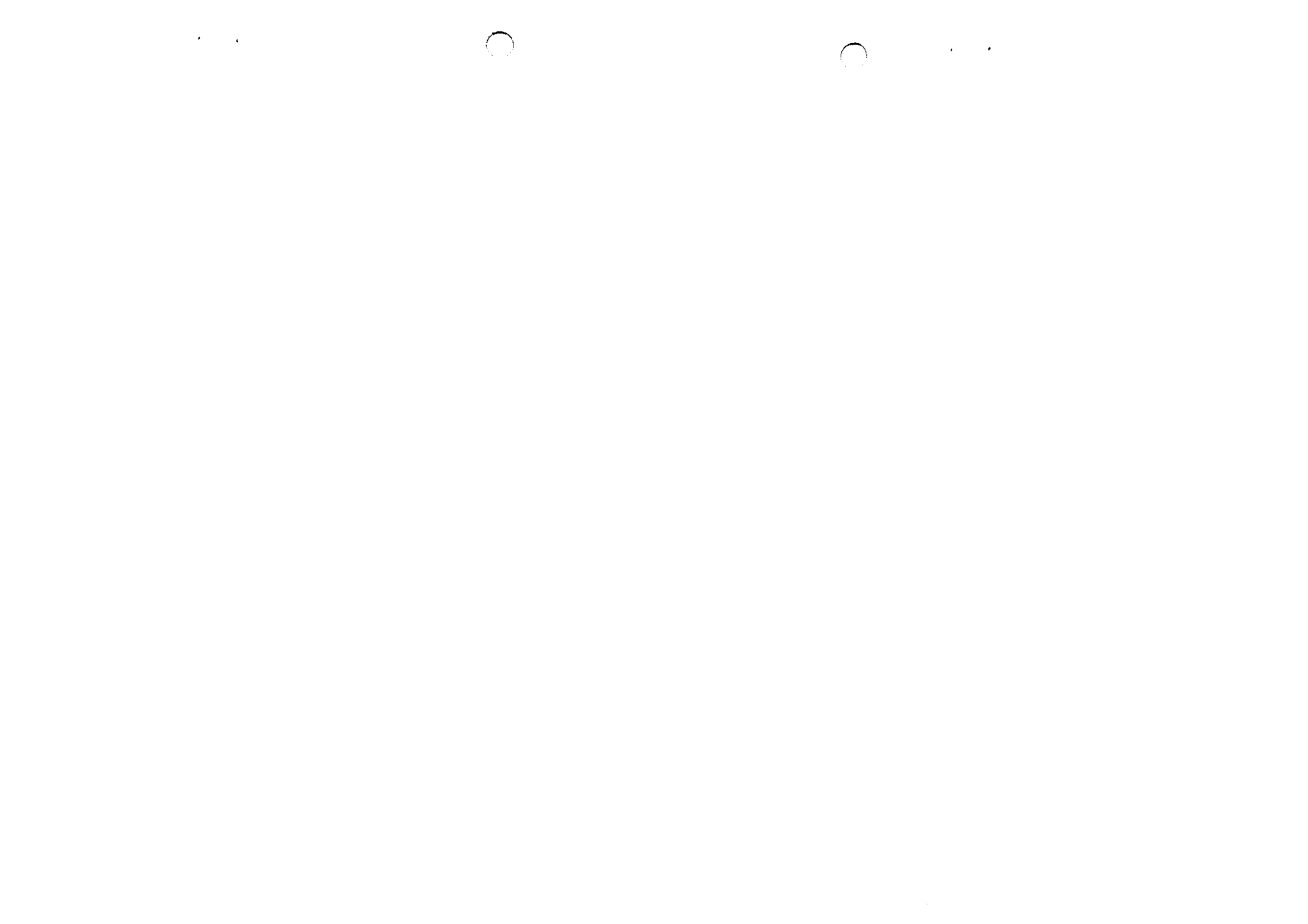
・24時間シートを作ることです・・・

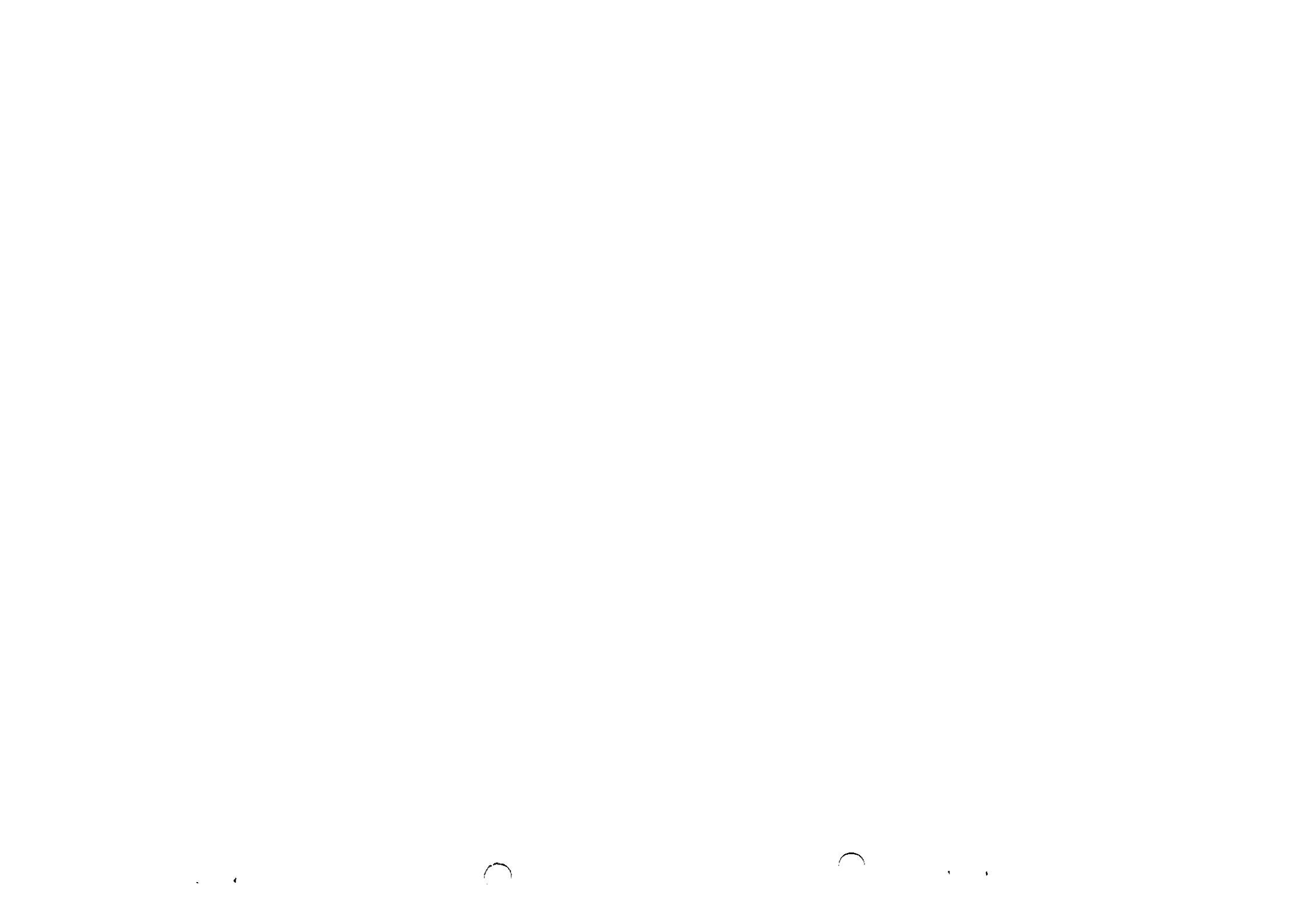
不足な、必要な
サービスを
提案できる場を



おとめ

A large rectangular area with vertical dashed lines, serving as a writing template. The lines are evenly spaced and run vertically across the page. There are two small semi-circular marks at the bottom edge of the page, one on the left and one on the right, which appear to be punch holes or decorative elements.





平成 21 年度

第 2 回 芦別慈恵園 職員研究発表会

平成 22 年 3 月 27 日 発行

発行者 理事長 岩 間 珠 一

発行所 社会福祉法人

芦 別 慈 恵 園

〒075 - 0036 芦別市旭町 28 番地

TEL 0124 - 22 - 2566

FAX 0124 - 22 - 1482

URL <http://www/ashibetsu.or.jp>

E-mail jikeien@ashibetsu.or.jp